

なはで暮らし、働き、育てよう
笑顔広がる元気なまちNAHA
みんなでつなごう市民力



- 01 私は那覇ですーまちは住む人そのもの
- 02 まちづくりの姿勢
- 03 まちづくりの将来像
- ーなはで暮らし、働き、育てよう 笑顔広がる元気なまち NAHA
- 06 5つのめざすまちの姿
- 07 世代と世界の交流が響き、紡ぎ合う心を育む
- ー多様なつながりで共に助け合い、認め合う 安全安心に暮らせるまち NAHA
- 09 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように
- ー互いの幸せを地域と福祉で支え合い 誰もが輝くまち NAHA
- 11 郷土の歴史や伝統文化から豊かさと創造性を学ぶ
- ー次世代の未来を拓き、豊かな学びと文化が薫る誇りあるまち NAHA
- 13 多様なものが集まるから、また訪れたくなる
- ーヒト・モノ・コトが集い、育ち、ひろがる万国津梁のまち NAHA
- 15 那覇らしい景観を守り時代に適した空間を活用
- ー自然環境と都市機能が調和した 住みつづけたいまち NAHA
- 17 なはのイベント
- 18 友好都市・姉妹都市
- 19 位置と市域、市のシンボル
- 21 指定文化財一覧
- 22 データでみる那覇

編集：那覇市秘書広報課

写真：秘書広報課、歴史博物館所蔵

市勢要覧 2018 4月



国指定重要文化財 新垣家住宅

壺屋にある陶工の住宅で 1974（昭和 49）年まで陶業を営んでました。400 坪の屋敷内には、主屋、作業場、離れ、登窯、フール（豚舎）、石垣が残っています。空襲と地上の戦火を逃れ、戦後の急激な都市開発をかいくぐり奇跡的に残されました。当時の陶工達の生活様式をうかがい知れる貴重な建造物です。

はいたい
ぐすーよー ちゅううがなびら
このたび那覇市は、2018（平成30）
年度から10年間のまちづくりの指針となる
「第5次那覇市総合計画」を策定いたしました。
計画では市民と行政がともにめざすまち
づくりの将来像として「なはで暮らし、働
き、育てよう 笑顔広がる元気なまちNA
HA みんなでつなごう市民力」を掲げ、
5つの絆でまちづくりの担い手一人ひとり
を結びつける「まちづくりの姿勢」を示し
ています。
今回の市勢要覧では、第5次総合計画に
沿いながら、市民の皆さんのまちづくり活
動の様子を中心に紹介しています。
個性豊かで多様なつながりを育みながら
生き生きとまちづくりに関わる皆さんの様
子に触れていただき、市民の皆さんをはじ
め多くの方々が那覇に関心を寄せ、さらな
る愛着を感じていただければ幸いです。
いっぺーにふえーでーびる。



那覇市長
城間 幹子



協働によるまちづくりをスタートさせて今年で20年。活動をとおりてシビックプライドを理解し行動をおこす市民が育まれてきました。

「シビックプライド」とは、都市に対する市民の誇りや愛着をあらわす言葉です。

郷土愛とは少し異なり、まちに住む一人ひとりが当事者意識をもって、まちづくりに関わっていくことが含まれています。

このまちを良くしたいと思う熱い関わりは、まちを変化させ、さらに新たな価値をもったまちに生まれ変わります。

人は住む場所を選び、働く場所を選ぶことができます。シビックプライドは、選ばれるまちをつくり、住む人の個性がまちのあらゆるところに象徴されるまちを創っていくのです。

私 は 那 覇 だ す

나는 나하

I am NAHA

わんやなーふあやいびん

まち は 住 む 人 そ の も の

Eu sou Naha

我 是 那 霸

Yo soy Naha

なはで暮らし、働き、育てよう 笑顔広がる元気なまち NAHA

まちづくりの将来像

万

国津梁の精神で大海原を舞台に雄飛した琉球王国の文化と歴史を今に受け継ぐ私たちの那覇市は、1921年（大正10年）に市制を施行して以来、美しいまちなみと亜熱帯特有の自然が調和した都市を形成してきました。

沖縄戦のゼロからの再出発を余儀なくされ、さらには米軍に

よる統治を経験してきたものの、平和と自治を希求する市民の力によって、少しずつ、かつてのにぎわいを取り戻してきました。産業や経済、医療、福祉、文化などの都市機能を集積させながら、今では県都として風格を備えた都市へと発展しています。

このような激動の時代を歩んできた那覇市は、3年後の2021年（平成33年）に市制施行100周年を迎えます。先人たちのたゆまぬ努力に想いを馳せ、これまでの100年で築き

上げた風格を大切にするとともに、これからの100年に向けて確実な一歩が踏み出せるよう、新たな礎を築いていかなければなりません。私たちは、輝かしい未来に向かって歩みながら、一人ひとりに市民の力をみんだでつないでいくことを、まちづくりの基礎とします。人々が支えあう中で、愛着と誇りを持って暮らし、働き、子どもの成長を楽しむ、そのような市民の笑顔が広がる那覇を築いていきます。



①首里士族屋敷のヤージョー（屋根門） ②首里城から見た赤田・崎山・鳥堀。煙突は酒造場のもの左手遠景は弁が岳 ③左手の建物は山形屋。真正面に市役所の建物が見え、電車が走っている ④終戦直後の壊滅した那覇 ⑤7月30日午前6時を期して左側通行に切りかえられ、米軍統治の終了を象徴するものであった ⑥1991年に第三セクター方式により建てられた大型商業施設「パレットくもじ」がオープン ⑦泊港と「とまりん」は1995年に港湾整備事業として建てられた総合ビル ⑧念願のモノレールが開通。出発式には多くの人が列をなした

①～⑦ 那覇市歴史博物館所蔵



まちづくりの将来像として
まちの姿を具体化するために掲げた
5つのめざすまちの姿
それぞれ独立するものではなく
互いに密接に連携しながら
那覇市の将来像を実現します



LGBT などの性的マイノリティが、より生きやすい社会を願う人が集まるイベント、「ピンクドット 沖縄」。共感の輪が広がり海外からも訪れる



1968年に現在の繁多川公民館の場所から始まった繁多川夏まつりは、地域住民の心を一つにし、郷土愛を育む地域みんなで作る大切な祭り。これからもみんなの夏の思い出を作っていく（石田中学校）

世代と世界の交流が 響き、紡ぎ合う心を育む

イチャリバチョーデーとユイマールの精神でおおらかなコミュニティを築きながら発展してきた那覇市は、個人や個性を尊重し、多様な生き方が認められる素地が整っています。挨拶からはじまる交流が世代を超えてつながり、市民みんなが主役となり楽しく安全安心に暮らせるまちをめざします。

そのために、お互いが思いやり譲り合いの気持ちであふれ、心と心が響きあい・紡ぎ合う協働によるまちづくりによって地域の力を高めていきます。小さな「わ」が大きな「WA」*1へとつながるように、自助、近助*2、共助、公助の役割を確認し、地域の人々と行政が対話を重ね、小

学校区を対象としたまちづくりを進め、地域の課題解決に協働で取り組みます。防災・防犯に関する活動等を通して、地域が結束した誇り高いまちづくりを進めます。さらに、国内外との交流の輪を広げ、恒久平和を希求する市民の想いを未来へと発信します。男女が対等な立場で活躍することや性の多様性を意識しながら、一人ひとりの人権が尊重され、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

*1 地域の通り会やサークルなどの小さなグループである「わ」が、様々なグループとなることが市全体に大きく広がり、さらに、国際都市として調和した「WA」へと発展させたいという想いが込められた市民提案
*2 近所とは、共助より身近な地域で思いやり譲り合いの心を基本にした自然に出てくる助け合いを指し、近年使われ始めた言葉で、人々をつなぐ絆への市民の願いが込められた市民提案



楽しみながら地域の祭りを支える婦人部のみなさん。手作りのサターアダーギーとおにぎりをこしらえ、さらに舞台もはなやかします（三重城団地）

多様なつながりで共に助け合い、認め合う 安全安心に暮らせるまち NAHA

互いの幸せを地域と福祉で支え合い

誰もが輝くまち NAHA

住み慣れた地域で 自分らしく暮らせるように

超高齢社会の到来、少子化及び核家族化が進行する中においては、地域のつながりがより重要になります。すべての人が自分らしく輝き地域の一員として見守り・見守られ心身ともに健やかで安心して暮らせるまちをめざします。



そのために、地域と世代がうまく支え合いにより、子どもも、お年寄りも、障がいのある人もない人も、皆が夢や生きがいを持ち、地域の中で安心して暮らせるまちづくりを進めます。また、誰もが健康で文化的な生活を営む環境を整え、特に夢や希望にあふれる子どもたちへのセーフティネットを拡げます。一人ひとりが自らの健康づくりに取り組むよう、市民の健康意識を高めるとともに、誰もが身近な地域で良質かつ適切な医療を受けられるまちづくりを進めます。住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう住まい、医療、介護、予防、生活支援が包括的に確保される体制を確立します。大災害や感染症等の原因により生じる健康危機から市民や来訪者の健康を守る体制を整えます。



市民一人ひとりが日ごろから健康づくりを実践できるよう、適切な食習慣や適度な運動を心がける取組みを行っています。①「健康づくり協力店」は外食でもバランスのとれたヘルシーメニューを提供している。平成 30 年 4 月現在 69 店舗が登録 ②お出かけついでに特定健診が受けられる「まちかど検診」③ひやみかちなはウォークは職場やお友達同士、家族一緒に参加してみんなで健康づくりに取り組める



松尾 2 丁目自治会

ボランティア団体が行う「子どもの居場所運営事業」は、地域の実情に応じて、食事の提供や生活指導、学習支援のほか、キャリア形成などの支援も行います。ひとり親家庭に限らず、居場所を必要とする子どもたちならだれでも参加できる



沖縄子育てライフサポートセンター(首里汀良町)



97歳の長寿を祝うカジマヤー。風車(カジマヤー)を持ちオープンカーで、住み慣れた地域をまわる。「ありがとう」と手を振る姿に住民は元気をもらう(若狭一丁目自治会)



オレンジリングは認知症サポーターのしるし。市民の誰もがサポーターになれるようサポーター養成講座は、職場、学校、サークルなど様々な場所で開催している



高齢者のみなさんが身近な場所で身体を動かし交流ができる「チャーがんじゅう体操教室」。市民ボランティアが介護予防リーダーとなって、筋トレや脳トレなどを行う(すみれの会：牧志駅前ほしぞら公民館)

腰痛や膝の痛みが少しずつ改善してきました。やはり動かすことは大切ですね

チャーがんじゅう教室
に参加して2カ月



新たな 支援サービス



妊娠期から子育て期までの多様なニーズに応じた情報提供や助言などを行う拠点施設「子育て世代包括支援センター」を平成 30 年度から設置します。支援が必要な妊産婦や乳幼児を早期に把握し、関係機関が連携して切れ目なく支援する体制を整え、子どもたちが健やかに生まれ育つ環境をつくります。

お子さんを持つ、市町村民税の非課税世帯や既に兄弟が就学援助の認定を受けた世帯等を支援対象として、小学校入学前に準備金を支給します。



成績が優秀で修学意欲があるにもかかわらず、経済的な理由で進学が困難な学生に対し、沖縄県内の大学等への進学及び修学を支援するため、入学及び授業料を全額給付します。



次世代の未来を拓き、豊かな学びと 文化が薫る誇りあるまち NAHA

郷土の歴史や伝統文化から 豊かさや創造性を学ぶ



やる気・元気 旗頭フェスタ

伝統文化を通じた居場所づくり。小学校 25 校、中学校 17 校の計 42 校が集うガ－エー（我栄）は勇壮活発。旗頭と向き合う真剣なまなざしは子どもたちの成長が感じられる（奥武山陸上競技場）

まちづくりは人づくりと言われるように、これからの新しい時代を切り拓く人材こそが重要となります。全ての成長過程にある子ども達の主体性や創造性を育み、向上心に富む市民が、輝かしい未来に向かって歩む、豊かな学びと文化薫る、誇りあるまちをめざします。

また、しまくうとうばに身近に接するとともに、郷土の歴史や伝統文化等の価値を再確認する機会を創出し、それらにふれあい、受け継ぎながら、新たな文化を創造・発展させ、日常に文化が薫るまちづくりを進めます。



一般社団法人琉球フィルハーモニックでは、子どもたちが気軽に楽器に触れる機会と居場所を提供している。プロの演奏家から学ぶことで、子どもたちの夢も一層ひろがる



こども居場所づくり事業の中でもキャリア教育は欠かせない。一般社団法人沖縄 IT ビジネス創出促進協議会はボランティアでプログラミング体験教室を実施している（久場川児童館）

ヒト・モノ・コトが集い、育ち、 ひろがる万国津梁のまち NAHA

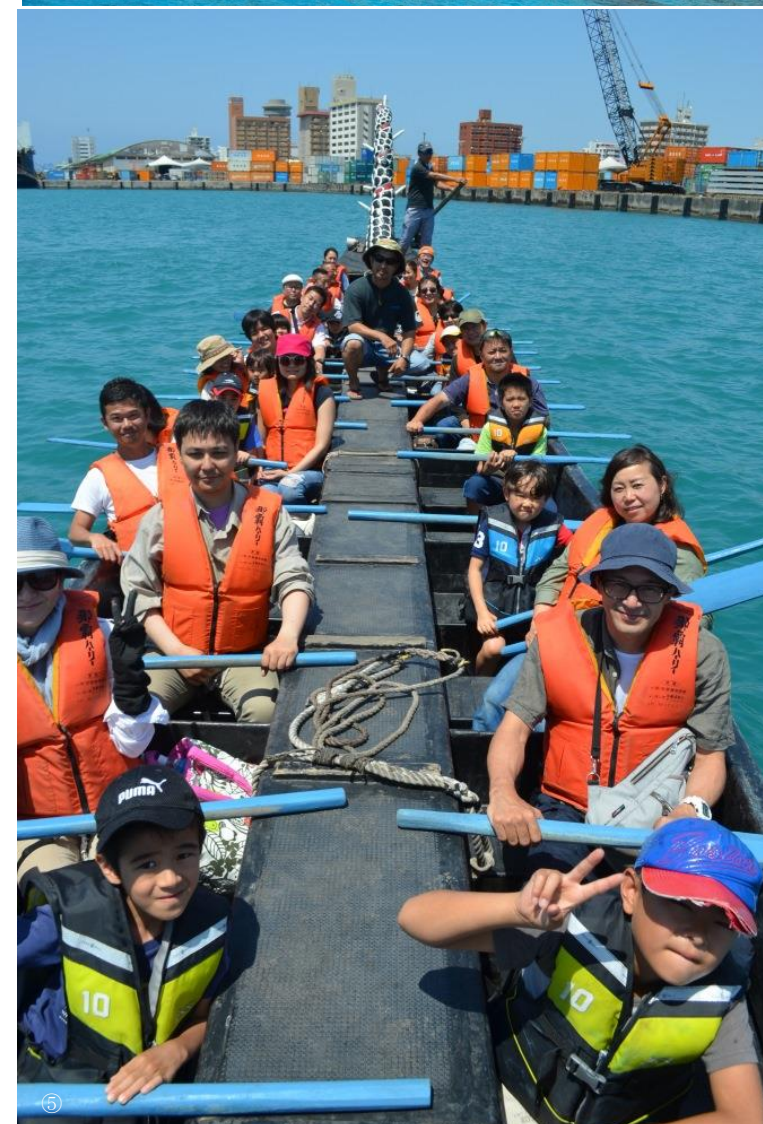
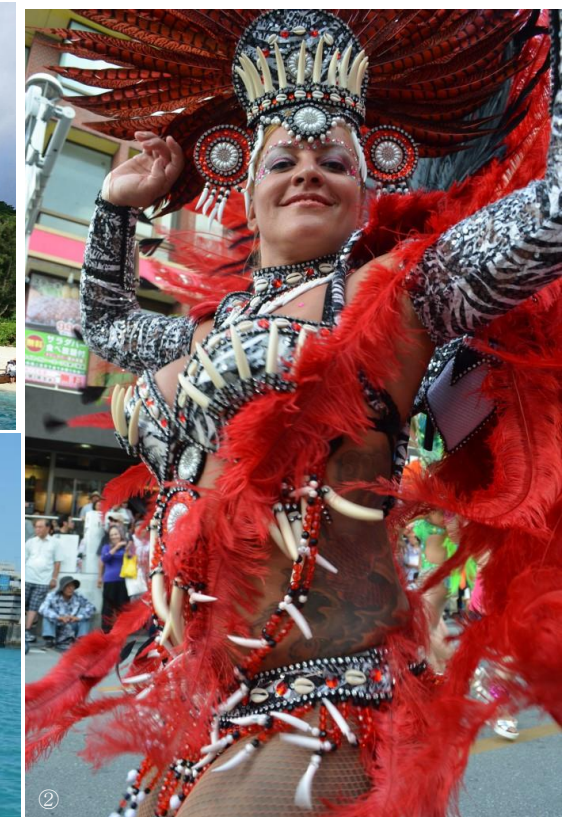
多様なものが集まるから
また訪れたくなる



我が国の南の玄関口として、アジアに開かれた那覇市は、アジアのダイナミズムを取り込むことによる新たな時代の到来が実感できるようになりました。この機会を確実に捉え、国内外から優れたヒトやモノが集い、そこから新たなモノやコトの付加価値を生み出し、世界へ羽ばたくことで、飛躍感がみなぎる万国津梁のまちをめざします。

そのために、先人が築き上げた歴史と文化、亜熱帯特有の気候や自然環境を活かし国内外はもとより外国からの旅行者が何度も訪れたくなる観光地としての地位を築きます。また、経済成長の著しいアジアにあつて主要都市との近接性等の地理的優位性を活かしたビジネスとリゾートが融合する都市として新たな地位を築きます。さらに、広域での幅広い連携のもと、リーディング産業である観光産業や市内に集積が進む情報通信関連産業はもとより、戦略的成長産業に位置付けられた国際物流関連産業など、様々な産業の活性化や成長・振興を図ります。また、マチグワー^{*3}等の地域資源を活かした地域の活性化を図るとともに、市民一人ひとりの働く力をさらに発揮できる労働環境を整え、商都としての活力を高めます。

^{*3} 昔ながらの商店街



①夏至南風（カーチペー）に乗って海を渡る「サバニ帆漕レース」は座間味島から那覇までの35.2キロメートルを帆走するレース
②那覇大綱挽の前日に行われる市民演芸・民俗伝統芸能パレードは国内外のパフォーマンスを楽しむことができる ③かつて那覇の三大まつりの1つとされていた「ジュリ馬行列」。鎮魂の想いを胸に躍りをささげる ④沿道の観客から飴やお菓子がふるまわれるNAHAマラソンは食べ過ぎに注意が必要だ ⑤那覇ハーリー²の2日目に体験できる無料乗船。爬龍船競漕はもちろん湾内のクルージング気分も楽しめる



多くの観光客で賑わう国際通りは、日本各地のお土産もお目見えするほど、外国人観光客にも人気スポット



那覇の観光に欠かせない「第一牧志公設市場」。相対売りに中国語と英語が飛び交う多国籍なスポットに進化している



農産市場の老朽化により新たに生まれ変わった「のうれんプラザ」。新たなにぎわいが期待される



都市型マルシェ「サンライズマーケット」は県内各地の農産品をはじめパン、スイーツのほかクラフトなど新たな沖縄の魅力を発見できる（サンライズ商店街）

自然環境と都市機能が調和した

住みつづけたいまち NAHA



深い緑と赤瓦が映える首里金城町。その奥にはコンクリートの白い建物が立ち並び中心市街地と海が広がる（崎山公園）

那覇らしい景観を守り 時代に適した空間を活用

沖縄らしい亜熱帯庭園都市を形成してきた那覇市は、魅力にあふれ住みよいまちとして発展してきました。これからも低炭素社会の実現に向けた地球にやさしい環境共生都市と安全安心で快適な都市機能を調和させ、誰もが訪れたい、住みつづけたいまちをめざします。

そのために、市内にある貴重な自然環境と多様な生態系を後世に残し、環境再生活動に積極的に取り組むとともに、地球温暖化対策に資する取り組みを推進します。災害に強く、安全安心・バリアフリーで快適な道路や公園、交



新都心公園の朝市とフリーマーケット



昔ながらの風景が残る字小禄



曙公園ではパーラー公民館がオープン



ワークショップを体験

公園の新たな活用が期待されている。何かワクワクすることを地域の声を集め公園を拠点に実践。だれもが集う場所となることで、環境の維持・管理が確保できる



国場川河口に広がる漫湖は、県内最大級の湿地として知られ、そこにはカニやハゼ、それをエサにする鳥などが集まる

暖かい沖縄で冬を過ごすため、朝鮮半島や中国大陸から来る冬鳥、さらに南へ行くための旅鳥たちが観察できる

都市の中にある湿地はとてもめずらしく、自然と共生するまちづくりを、これからも守り、受け継いでゆく

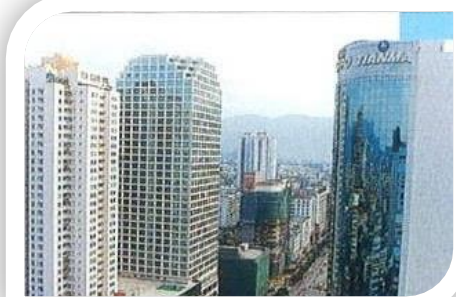


絶滅が危惧されるクロツラヘラサギ



友好都市

福州市(中華人民共和国・福建省)



人口：約 680 万人
面積：約 12,153 平方キロメートル
1981 年 5 月 20 日友好都市提携

14 世紀から中国と琉球王国を結ぶ交流の拠点都市として、今日に至るまで各分野において相互訪問による交流が続いています。福州市にある琉球館や琉球人墓地、那覇市にある「福州園」は相互の緊密な交流の歴史を物語っています。

友好都市

川崎市(神奈川県)



人口：約 146 万人
面積：約 144 平方キロメートル
1996 年 5 月 20 日友好都市提携

川崎市との交流の歴史は大正時代に沖縄から川崎の紡績工場に多くの人が就職したことに始まり戦前から多くの県出身者が各方面で活躍しています。

姉妹都市

日南市(宮崎県)



人口：約 5 万 4 千人
面積：約 536 平方メートル
1969 年 4 月 24 日姉妹都市提携

古くから油津港と那覇港を結ぶ交易を通して、経済・文化の交流が行われてきました。また戦時中は那覇市民をはじめ多くの県民が疎開で日南市のみなさまにお世話になり、市民相互の親善が深められました。

姉妹都市

ホノルル市(アメリカ合衆国・ハワイ州)



人口：約 98 万人
面積：約 1,556 平方キロメートル
1961 年 1 月 10 日姉妹都市提携

戦前から移民などを通じて活発な交流が行われてきました。特に沖縄の戦後復興期には、ハワイの県系人による物心両面にわたる支援を受け、現在も学術・文化・経済などの幅広い交流が行われています。

姉妹都市

サンビセンテ市(ブラジル連邦共和国・サンパウロ州)



人口：約 30 万人
面積：約 146 平方キロメートル
1978 年 10 月 23 日姉妹都市提携

姉妹都市締結日：1978 年 10 月 23 日県出身 2 世の伊波興裕氏がサンビセンテ市長の頃に姉妹都市を締結。これまで両市職員の交換派遣交流などの歴史があります。

友好都市・姉妹都市

4 月

波の上ビーチ海開き
壺屋でシーサーの日
沖縄国際映画祭



6 月

6 月 23 日は、沖縄戦の戦没者を追悼し、平和への想いを新たに「慰霊の日」が各地で開催される

7 月

7 月 8 日(なは)の日。市民参加のさまざまなイベントを開催。市民によるまちおこしを考える日

10 月

那覇大綱挽まつり



琉球王国時代から慶賀行事として行われ、昭和 46 年に復活した那覇大綱挽は、ギネス認定を受けた世界最大の藁綱。その大綱が国道 58 号の久茂地交差点を中心に、旗頭が舞う中、万余の人々が一体となって綱を引き合う様子は圧巻そのもの

12 月

NAHA マラソン



太陽と海とジョガーの祭典「NAHA マラソン」は、国内外からの参加者 30,000 人が走る国内最大規模を誇る市民マラソン。主役はジョガーだけでなく沿道の熱い声援をおくるボランティアにも注目です！

5 月

那覇ハーリー



「ハーリー」は、約 600 年前に中国から伝わり、航海の安全と繁栄を祈願するものとして、県内各地で盛んに行われています。

8 月

一万人のエイサー踊り隊



9 月

なは青年際
とまりんフェスタ

11 月

ひやみかちなはウォーク



琉球王朝祭り首里

かつて琉球王国の都として栄えた古都・首里。中国からの使者・冊封使(さっぽうし)などの行列を再現した古式行列が行われ、首里のまちは琉球王朝時代の文化一色に染まります。

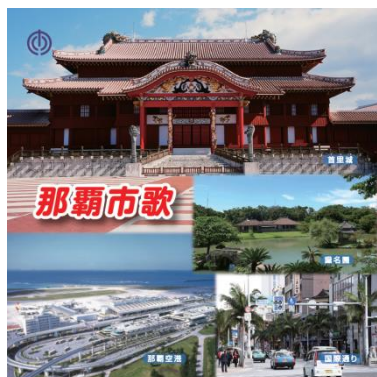
2 月

読売巨人軍春季キャンプ
なはさくらまつり



なはのイベント

【那覇市歌】



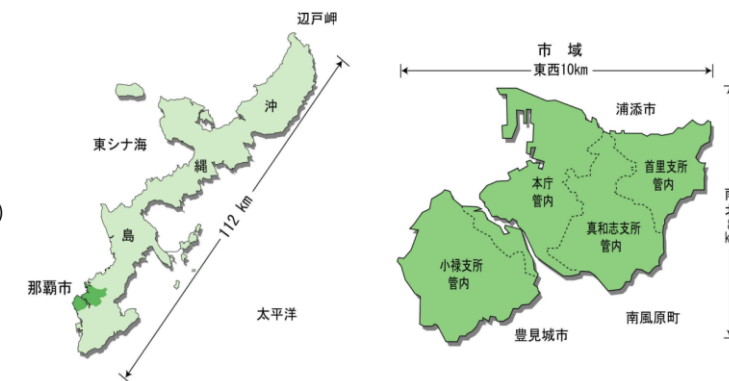
那覇市歌の制定については、戦前の資料が戦争で失われたため、正確なことは分かっていません。しかし、当時の新聞の記録や作詞家の安藤氏の当時の日記などから、制定されたのは、1929年（昭和4年）頃と推定されます。現在、市歌は市のさまざまな式典や行事などで演奏されています。

位置と市域

那覇市の位置 北緯 26° 10'34"～14'46"

東経 127° 38'12"～44'19"（市の位置）

那覇市面積 39.98 km²（平成30年1月）



市のシンボル

【市章】



ナハの字を円形に図案化し、無限に膨張発展する那覇市の姿を表しています。市制が施行された大正10年（1921年）に制定されました。

【市木 フクギ】



【市魚 マグロ】



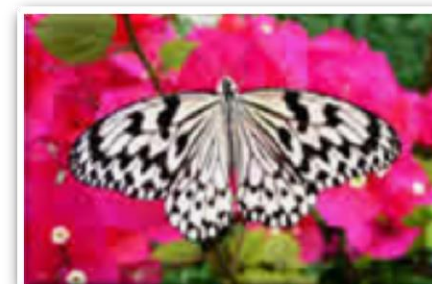
【市花 ブーゲンビレア】



【市花木 ホウオウボク】



【市蝶 オオゴマダラ】



那覇市歌

作詞・安藤佳翠(1～3番)/那覇市歌選定委員会(4～7番) 作曲・宮良長包

七、 青松並木の 遠く海原 夢たくし 世界をつなぐ わが那覇市	六、 緑の風の 若い力の 意気昂 未来はばたく わが那覇市	五、 守礼の邦の 万国津梁 ここにあり あしたをひらく わが那覇市	四、 御万人にぎわう 結の心で ともに生き 平和はぐくむ わが那覇市	三、 ゆかりも古き 理想の自治に 進まん 希望かがやく わが那覇市	二、 みどりも深き 清き心に 諸人の むつみしたしむ わが那覇市	一、 あけぼの清き まちはいらかの 数増して 弥栄えゆく わが那覇市
--	--	--	---	--	---	---

あ	け	ほ	の	き	よ	き	み	ん	な	み	の
み	な	と	に	ぎ	わ	う	も	も	ふ	ね	や
ま	ち	は	い	ら	か	の	か	ず	ま	し	て
い	や	さ	か	え	ゆ	く	わ	が	な	は	し

統計・資料

データで見る那覇

－Index－

市民の生活	1
那覇市の日	2
統計から見た那覇市	3
国勢調査人口の推移	5
自然動態	5
人口の年齢別構造	6
人口ピラミッド	6
都市計画地域	7
気象	7
経済センサス	8
那覇空港の旅客数と貨物量	8
消費物価指数	9
一世帯あたり 1 ケ月間の消費支出割合	9
自動車保有台数	10
生活保護の状況	10
月別火災件数	11
救急活動状況	11
入域観光客数及び観光収入の推移	12
航路別県外観光客数の構成比	12
一般会計	13
市税収入状況	13
産業中分類別商店数・従業員者数	14

【那覇市内指定等文化財件数一覧】

	有形文化財（83 件）												無形文化財 (12 件)				民俗文化財 (16 件)			記念物 (52 件)			選定 保存技術	登録 有形文化財	国 県市別計
	建造物（14 件）					美術工芸品（68 件）							芸 能	工 芸 技 術	空 手・ 古武 術	選 択	有 形	無 形	選 択	史 跡	名勝・ 特別名勝	天然 記念物			
	寺 院 建 築	城 郭 建 築	橋 梁	住 宅	そ の 他	絵 画	彫 刻	工 芸 品	書 蹟	典 籍	古 文 書	歴 史 資 料													
国			2	1	4			2		2	1	3	3	2		1			2	5	4	2	2	6	42
県	1	1	3		1	7	7	32	4	2	3	3	1	3	1				1	8	1	1			80
市					1			1			2			1			3	10		28	2	1			49
計	1	1	5	1	6	7	7	35	4	4	6	6	4	6	1	1	3	10	3	41	7	4	2	6	171

【那覇市所在世界遺産】

条約資産別	国内指定区分	名 称	登録年月日	所在地・所有者等
記念工作物	重要文化財（建造物） 記念物（史跡）	園比屋武御嶽石門	平成 12 年 12 月 2 日	首里真和志町 1－7 那覇市
	重要文化財（建造物） 記念物（史跡）	玉陵	平成 12 年 12 月 2 日	首里金城町 1－3、3－1 沖縄県、那覇市
遺 跡	記念物（史跡）	首里城跡	平成 12 年 12 月 2 日	首里当蔵町 3－1、1－1 国、沖縄県
	記念物（特別名勝）	識名園	平成 12 年 12 月 2 日	字真地 421 の 1 ほか 那覇市外

《市民の生活 Life of Citizens》

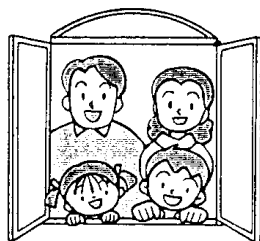
人口密度

(1km²あたり)



8,192人

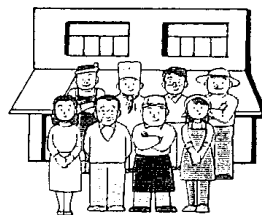
1世帯あたりの人員



2.2人

小売業の年間販売額

(平成26年7月1日現在)



11,426万円

公園面積

(市民1人あたり)
(平成28年4月1日現在)



6.18㎡

下水道普及率

(平成27年度)



98.0%

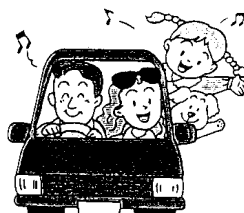
1ヶ月間平均消費支出額 1世帯あたり(二人以上の世帯)



233,770円

登録・届出保有自動車数

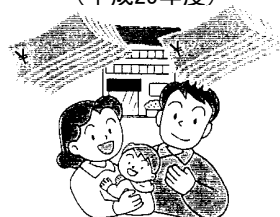
(乗用自動車1世帯あたり)
(平成27年度)



0.94台

市民所得

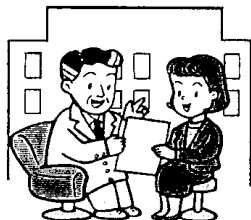
(市民1人あたり)
(平成25年度)



1,959千円

医療施設数

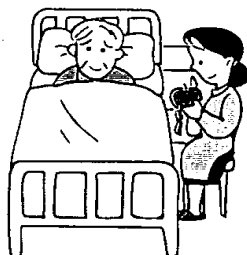
(病院・診療所・歯科診療所)



482ヶ所

(市民673人に1ヶ所)

病床数



3,750床

(市民86人に1床)

教員1人あたり

(平成28年5月1日現在)



小学生→**18.3人**
中学生→**15.4人**

進学率

(平成28年3月31日現在)



高校進学率
→**97.3%**

大学進学率
→**53.1%**

消防職員1人あたり

(平成28年4月1日現在)



市民1,196人

市職員1人あたり

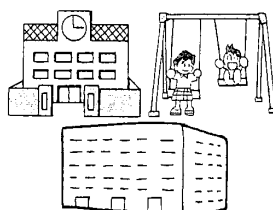
(平成28年4月1日現在)



市民153人

平成26年度歳出決算額

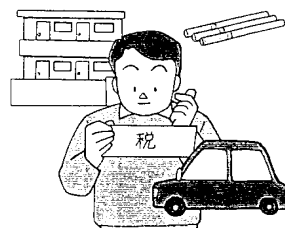
(一般会計)
(市民1人あたり)



429,570円

平成26年度市税

(市民1人あたり)



139,911円

注:市民の生活は特にことわりのないものは、平成27年(1月～12月)の値です。

「人口密度」「1世帯あたりの人員」は、平成28年12月31日現在の住民基本台帳人口による数値である。

「医療施設数」「病床数」は、平成27年10月1日現在。人口は、平成28年12月31日現在の住民基本台帳人口である。

「消防職員数」「市職員数」は、平成28年4月1日現在。人口は、平成28年12月31日現在の住民基本台帳人口である。

《那覇市の1日 A day of Naha City》

出 産

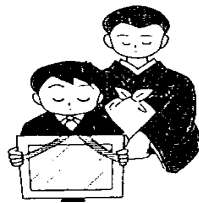
(外国人を含む)



8.8人

死 亡

(外国人を含む)



7.2人

結 婚

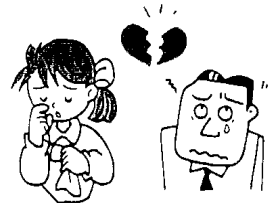
(外国人を含まない)



6.2件

離 婚

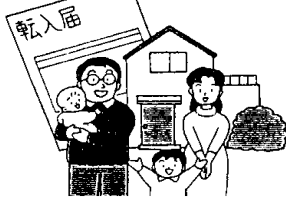
(外国人を含まない)



2.5件

転 入

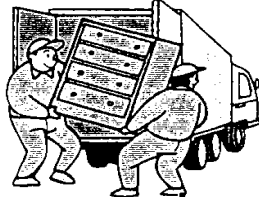
(外国人を含む)



45.6人

転 出

(外国人を含む)



47.2人

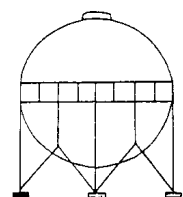
電 気

(平成27年度)



4,448千KWH

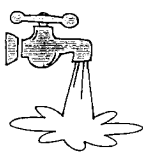
都市ガス



66.8千m³

水道供給量1人あたり

(平成27年度)



331ℓ

交通法令違反
取締り状況

(那覇署管内)



46.7件

市立病院
夜間救急受診状況

(平成27年度)



104.5人

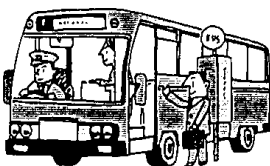
那覇空港乗降客



乗客 **25,111人**
降客 **25,110人**

市内バス利用者

(平成27年度)



11,618人

ご み

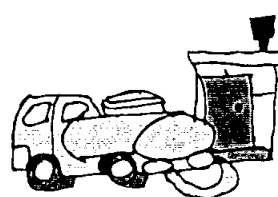
(平成27年度)



275トン

し 尿

(平成27年度)



14,912ℓ

火 災



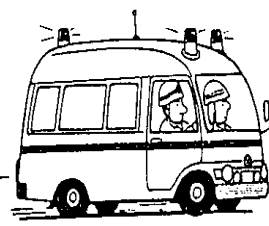
0.24件

交 通 事 故



4.2件

救急車出動数



50件

刑 法 犯 罪



認知件数→ **8.0件**
検挙件数→ **3.3件**

市立図書館貸出冊数

(平成27年度)



3,975冊

注：那覇市の一日は、年間・年度間を365日で割ったものです。特にことわりのないものは、平成26年(1月～12月)の値です。
「図書館貸出冊数」は、中央図書館開館日数(275日)で算出しています。

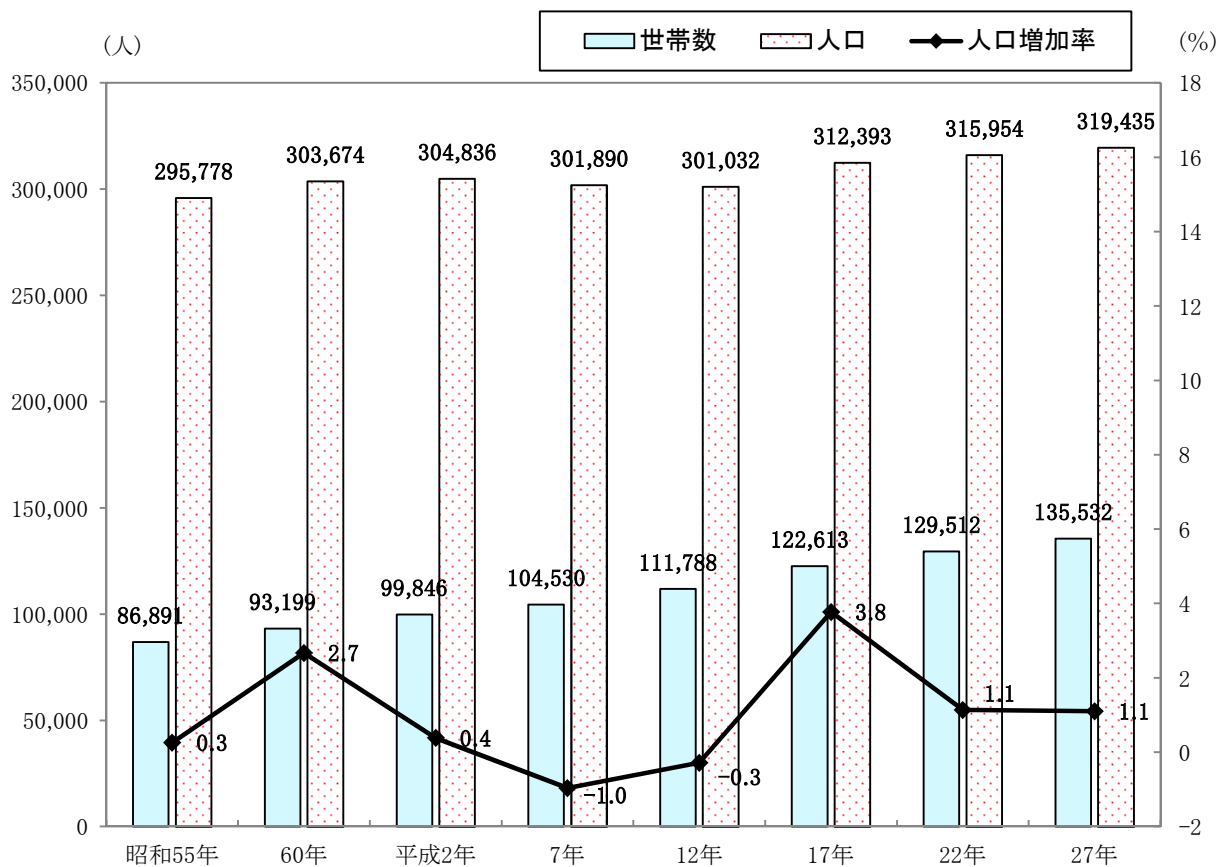
≪統計から見た那覇市≫

項 目		数	期 間・時 点	備 考
市域面積		39.57 ㎢	平成28年10月1日現在	豊見城市と按分した推計面積
国 勢 調 査	世帯数	135,532 世帯	平成27年10月1日現在	平成27年国勢調査
	人口	319,435 人		平成27年国勢調査推計の面積(39.57㎢)
	人口密度	8,072.7 人		平成27年国勢調査 ※平成22年国勢調査の数値
	昼間人口	※ 344,774 人		
	常住人口	※ 315,954 人		
	人口集中地区面積	38.4 ㎢		
	人口集中地区人口	318,151 人		
	第1次産業従業者数	840 人		
	第2次産業従業者数	12,475 人		
	第3次産業従業者数	101,142 人		
住 民 基 本 台 帳	総数	149,274 世帯 324,157 人	平成28年12月31日現在	
	本庁	50,568 世帯 100,557 人		
	真和志支所	49,108 世帯 105,975 人		
	首里支所	23,621 世帯 57,376 人		
	小禄支所	25,977 世帯 60,249 人		
	外国人(世帯・人口)	2,835 世帯 4,093 人		
	転入者数	16,648 人		
転出者数		17,237 人	平成28年(年間)	
出生数		3,220 人		
死亡数		2,643 人		
婚姻届件数		2,253 件		
離婚届件数		908 件	平成27年(年間)	外国人を含まない。
事業所数		17,995 事業所	平成26年7月1日現在	経済センサス-基礎調査
従業者数		156,511 人		
事業所数(製造業)		106 事業所	平成26年12月31日現在	工業統計調査 (従業者4人以上の事業所)
従業者数(製造業)		1,756 人		
製造品出荷額等		2,873,472 万円	平成27年2月1日現在	2015年農林業センサス
農家数		119 戸		
農家世帯員数(販売農家)		292 人		
経営耕地面積		5,561 a		
商店数		3,041 店	平成26年7月1日現在	商業統計調査
内 訳	卸売業	693 店		
	小売業	2,348 店		
従業者数		21,354 人		
内 訳	卸売業	6,173 人		
	小売業	15,181 人		
年間商品販売額		76,913,717 万円		
内 訳	卸売業	50,085,273 万円		
	小売業	26,828,444 万円		
住宅総数(居住世帯なしを除く)		131,640 戸	平成25年10月1日現在	住宅・土地統計調査
内 訳	持ち家	50,670 戸		
	借家	78,300 戸		
建物総数		54,912 棟	平成28年1月1日現在	固定資産概要調書

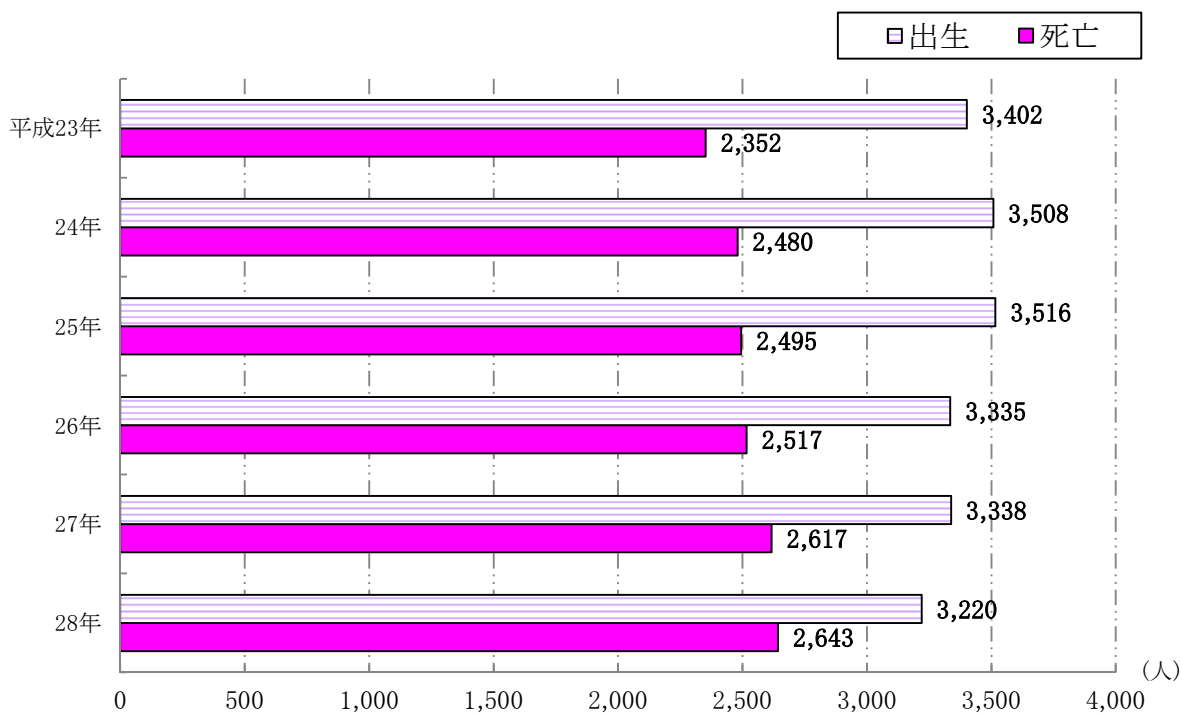
項 目	数	期 間・時 点	備 考
都市公園数	174 園	平成28年4月1日現在	
都市公園面積	199.85 ha		
市営住宅管理戸数	5,809 戸	平成28年3月31日現在	
電灯使用電力量	697,425,679 KWH	平成27年度(年度間)	
電力使用電力量	926,191,573 KWH		
都市ガス需要量	24,368,767 m³	平成 27 年 (年 間)	
水道配水量	39,117,387 m³	平成27年度(年度間)	
下水道普及率(人口)	98.0 %	平成 27 年度末現在	
1人あたり市民所得	2,430 千円	平成 25 年 度	
消費者物価指数(総合)	102.6	平成 27 年 平 均	平成22年=100
消費者物価指数(食料)	103.3		
消費者物価指数(住居)	100.2		
消費者物価指数(光熱・水道)	109.1		
1世帯あたり消費支出(月平均)	233,770 円	平成 27 年 平 均 (二人以上の農林漁家世帯を含む)	家計調査(二人以上の世帯)
1世帯あたり消費支出(月平均)	267,257 円		家計調査(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)
国民年金被保険者数	73,805 人	平成27年3月31日現在	
国民健康保険加入者世帯数	54,518 世帯	平成 27 年 度 平 均	
国民健康保険被保険者数	93,510 人		
病院数	19 カ所	平成27年10月1日現在	
診療所数	279 カ所		
歯科診療所数	184 カ所		
病床数	3,750 床		
公害苦情件数	132 件	平成27年度(年度間)	
ごみ収集量	100,308 トン		
し尿処理量	5,443 KL		
交通事故件数	1,540 件	平成 27 年 (年 間)	
救急車出動件数	18,121 回		
火災件数	87 件		
NTT加入件数	45,815 件	平成28年3月31日現在	
保育所数・園児数	76 園 7,936 人	平成28年4月1日現在	
幼稚園数・園児数	総数 52 園／4,218 人 市立 36 園／3,510 人 私立 6 園／708 人	平成28年5月1日現在	(※若夏分校を含む)
小学校数・児童数	36 校 19,935 人		
中学校数・生徒数	総数 20 校／10,413 人 市立 18 校※／9,141 人 私立 2 校 1,272 人		
高校進学率	97.3 %	平成28年3月31日現在	
大学・短大進学率	53.1 %		
市立図書館蔵書冊数	647,624 冊	平成28年3月31日現在	
選挙人名簿登録者数	260,044 人	平成 28 年 9 月 2 日 現在	
歳入決算額(一般会計)	143,829,869 千円	平成 27 年 度	
歳出決算額(一般会計)	139,248,104 千円		
歳入決算額(特別会計)	79,276,618 千円		
歳出決算額(特別会計)	81,746,394 千円		
市税収入済額	45,353,129 千円		
国民健康保険税調定額	4,896,428 千円		
市職員数	2,391 人	平成28年4月1日現在	

《グラフで見る那覇市》

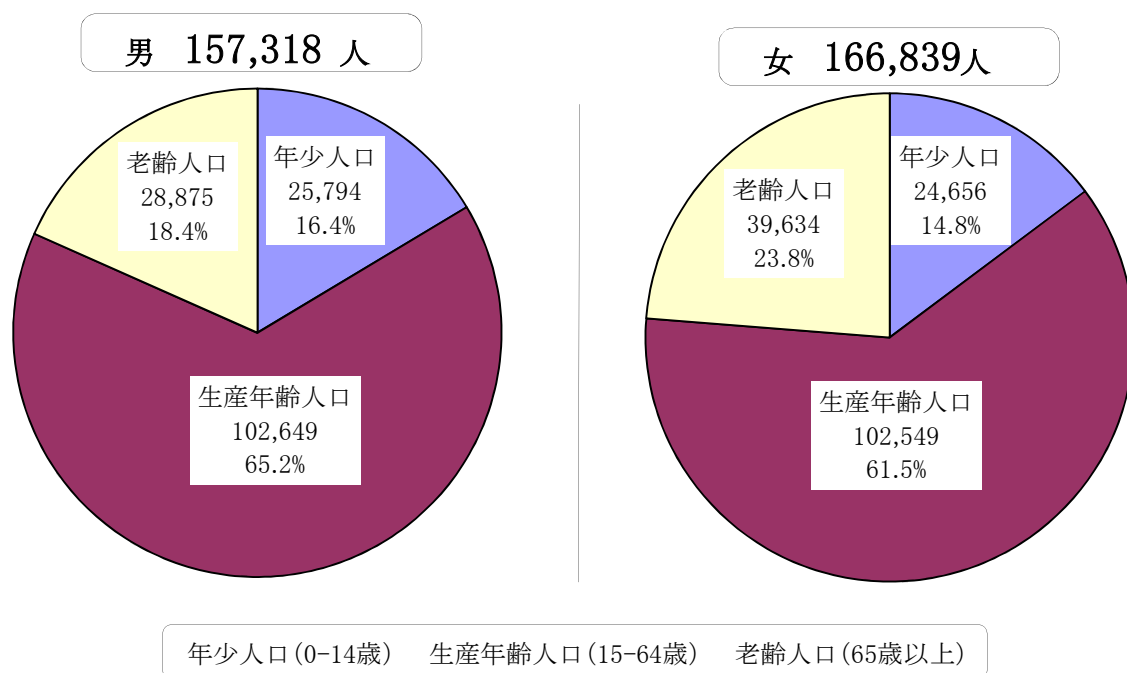
【国勢調査人口の推移】



【自然動態】(外国人を含む)

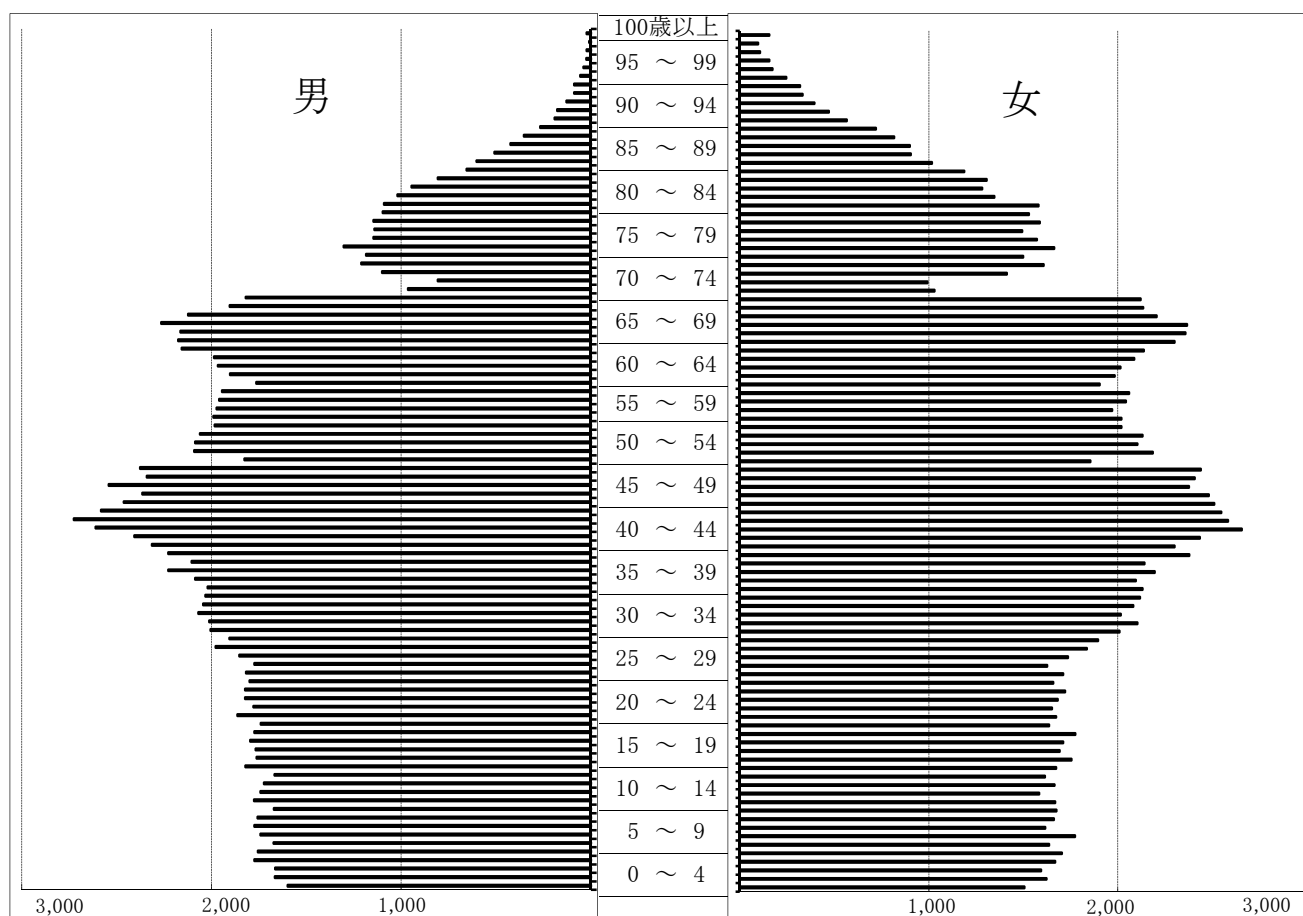


【人口の年齢別構造】(平成28年12月31日現在)

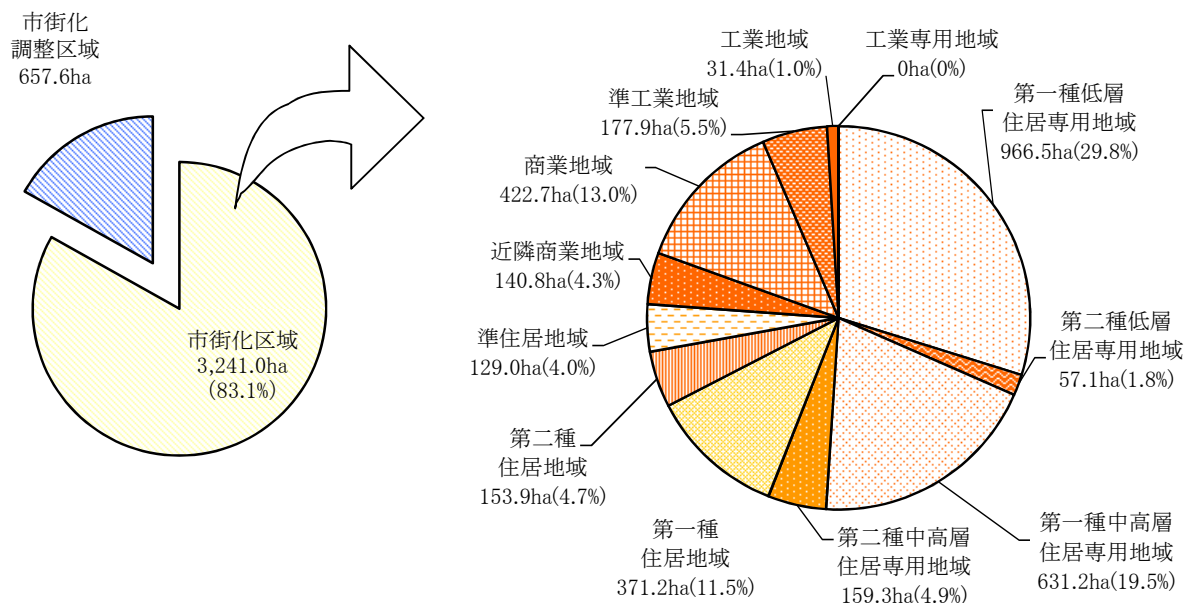


【人口ピラミッド】(平成28年12月31日現在)

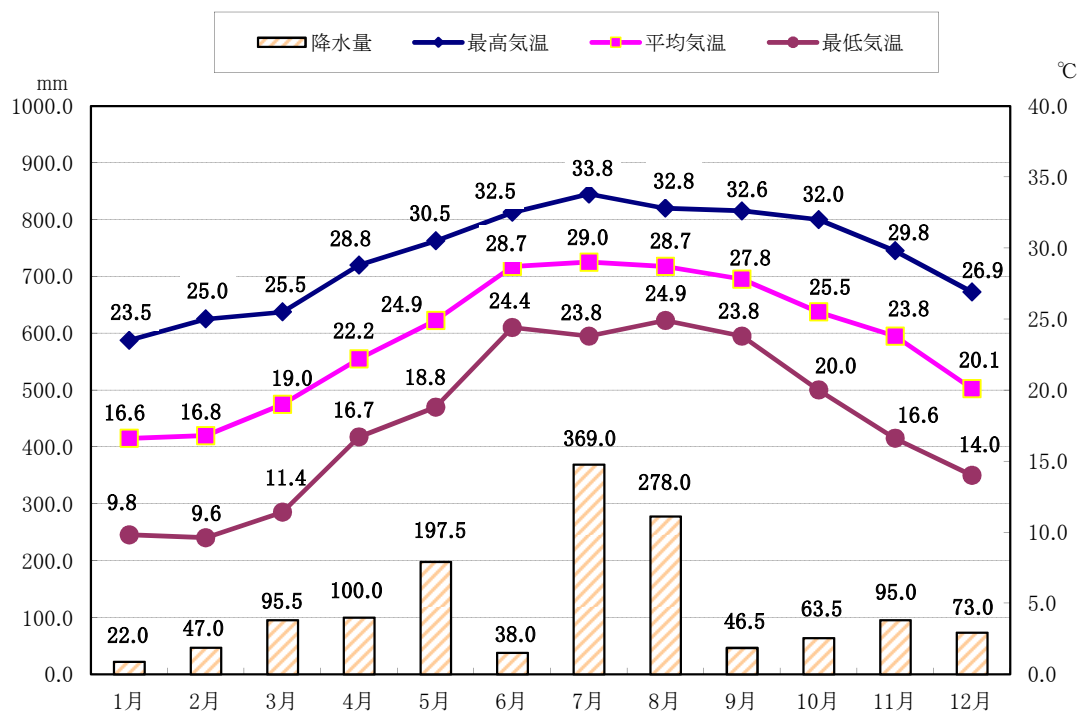
単位:人



【都市計画地域】(平成28年11月現在)

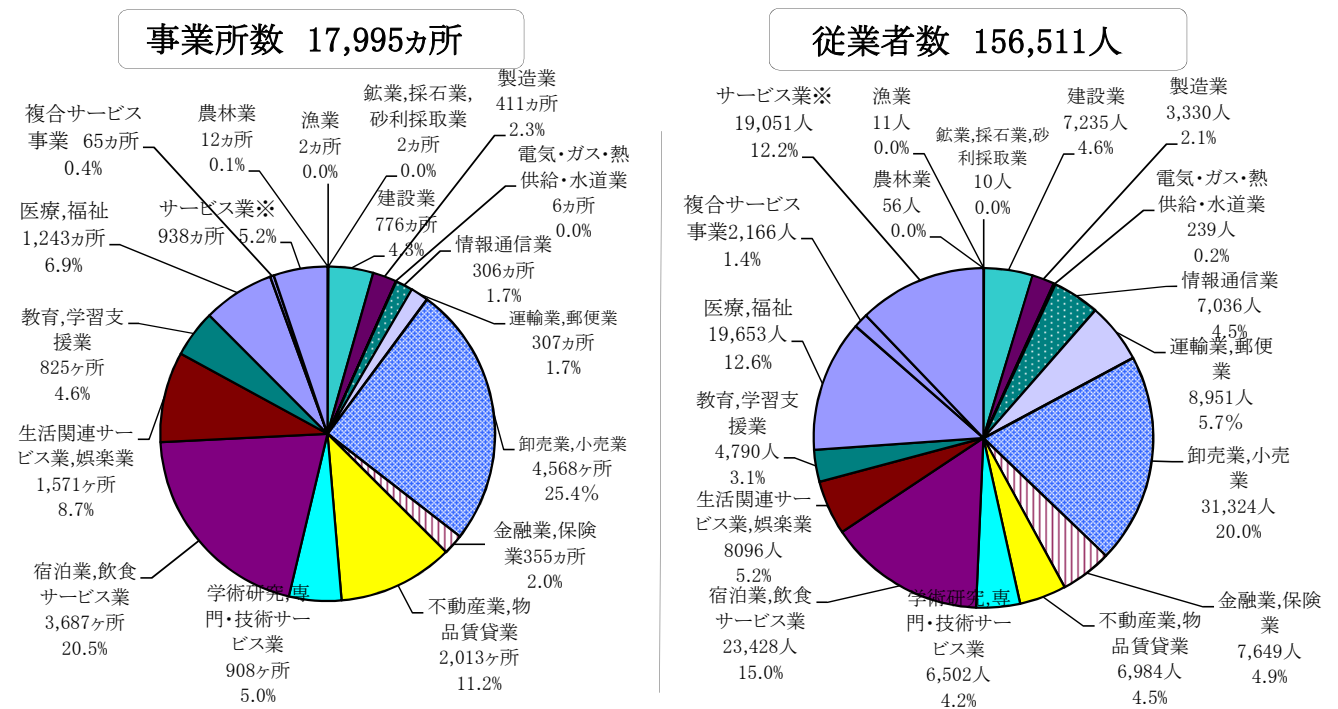


【気象】(平成26年)

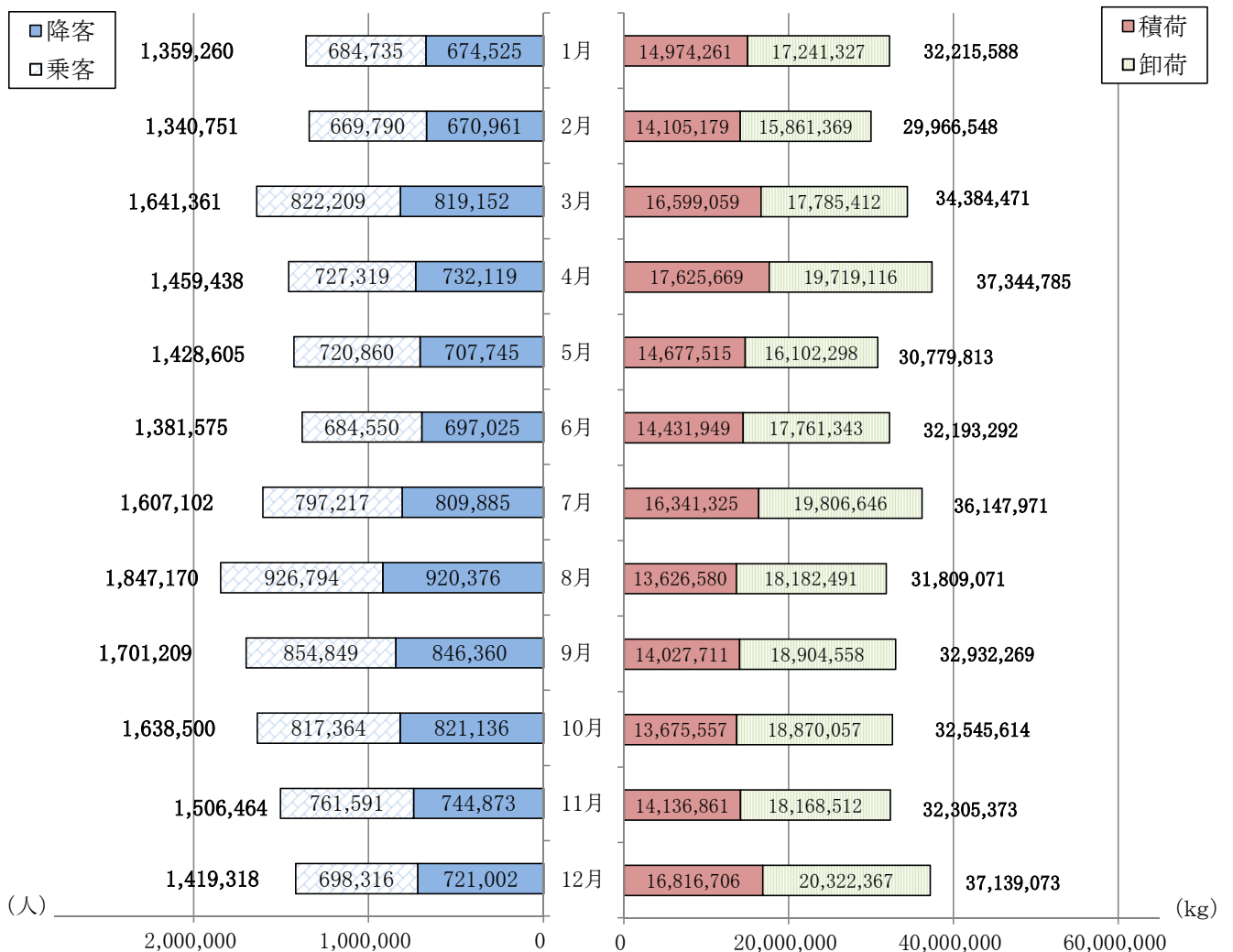


【経済センサス-基礎調査】(平成26年7月1日現在)

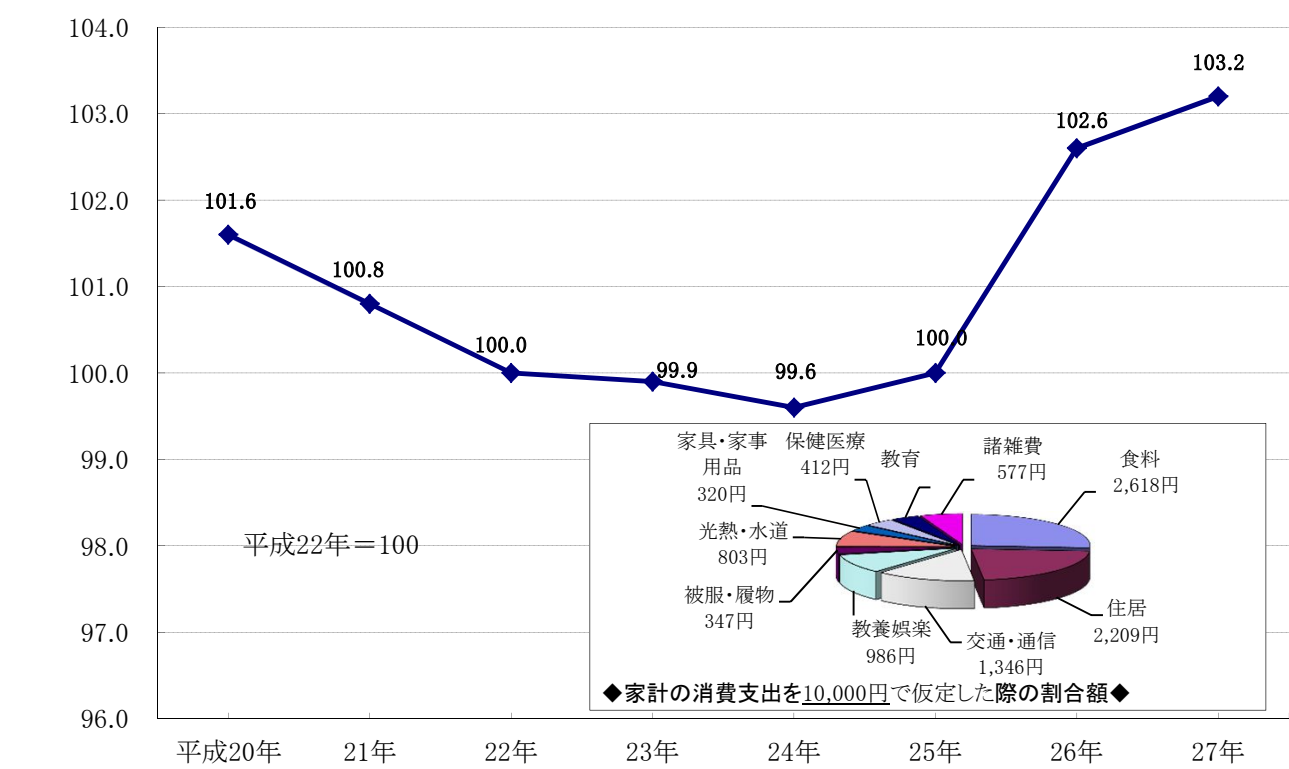
※サービス業は他に分類されないものである。



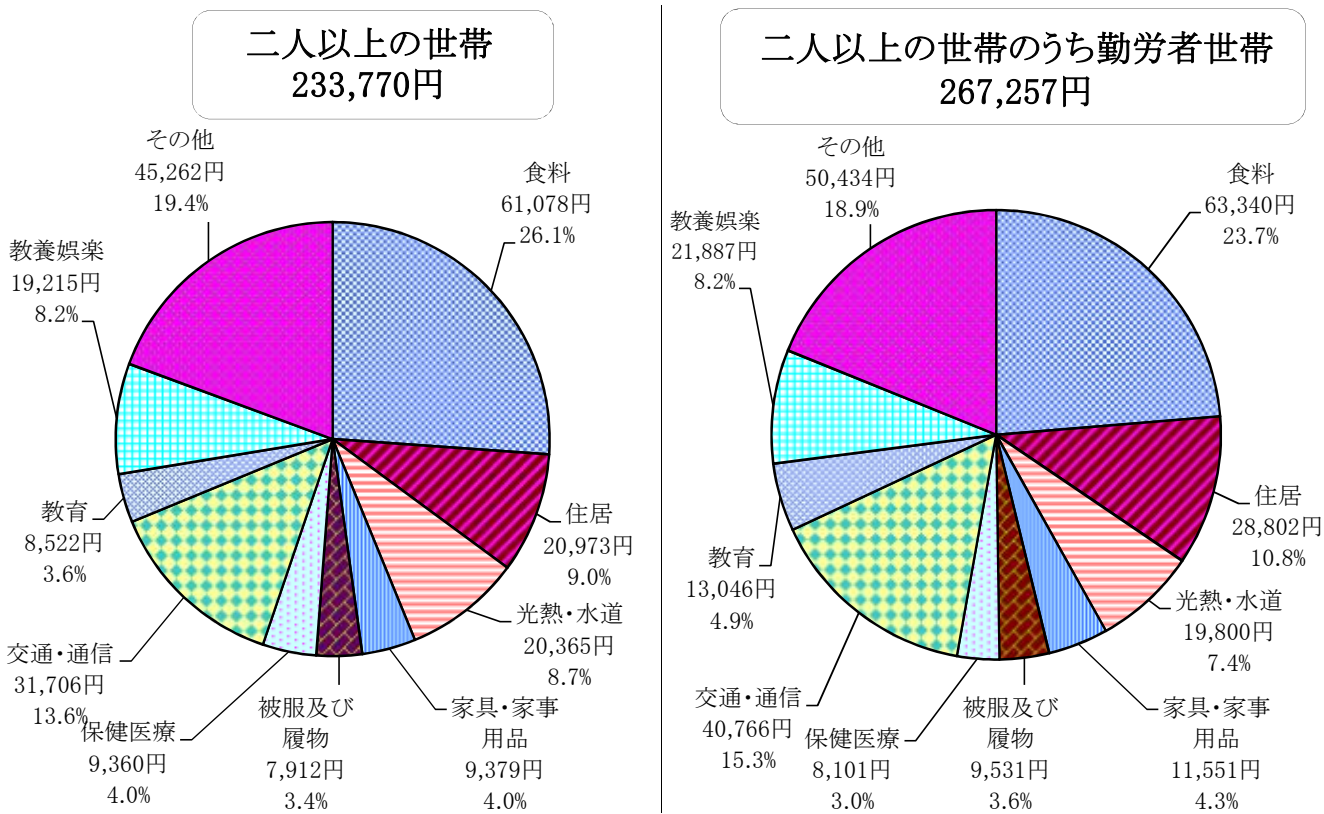
【那覇空港の旅客数と貨物量】(平成27年)



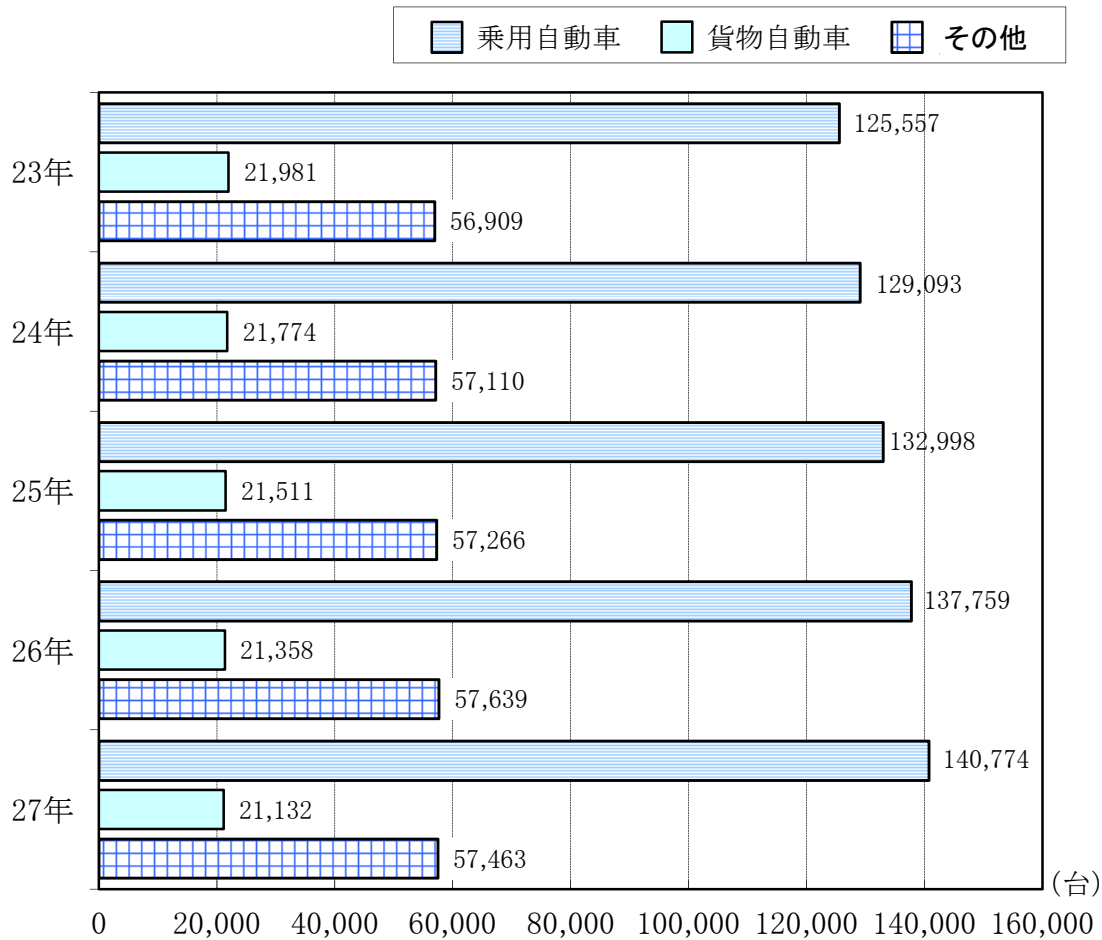
【消費者物価指数】



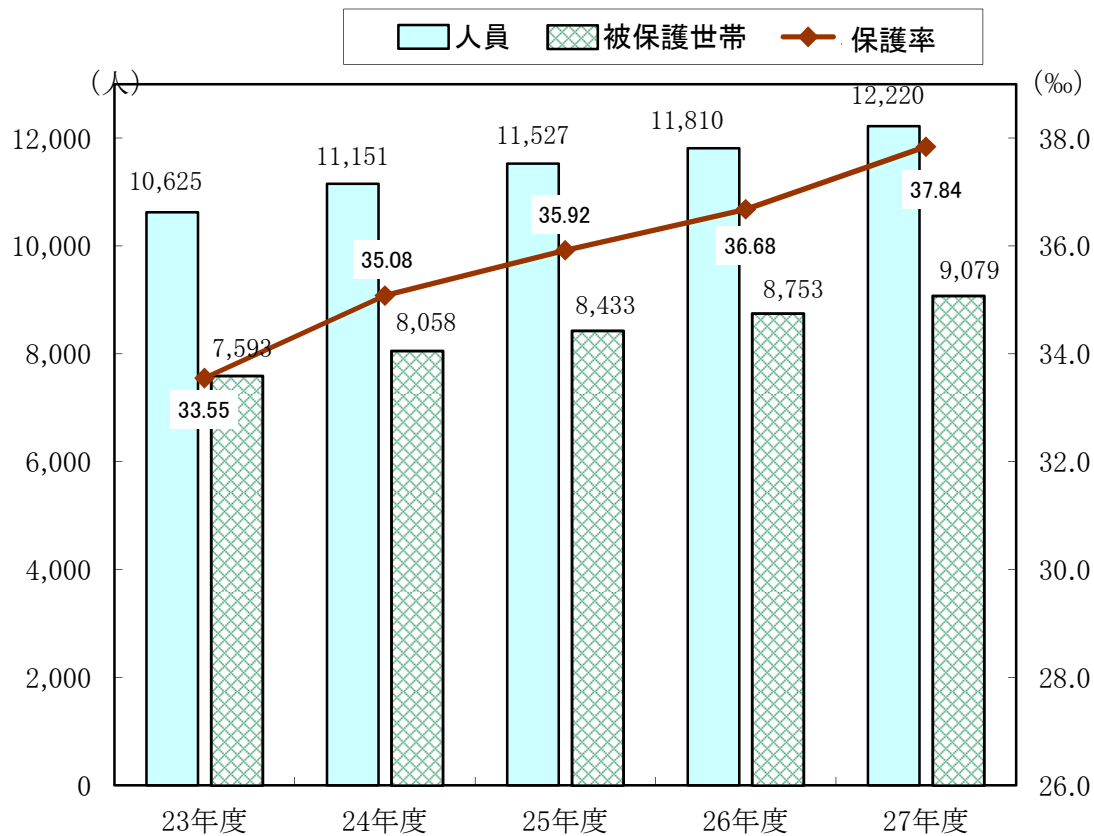
【1世帯あたり1ヶ月間の消費支出割合】(平成27年平均) 農林漁家世帯を含む



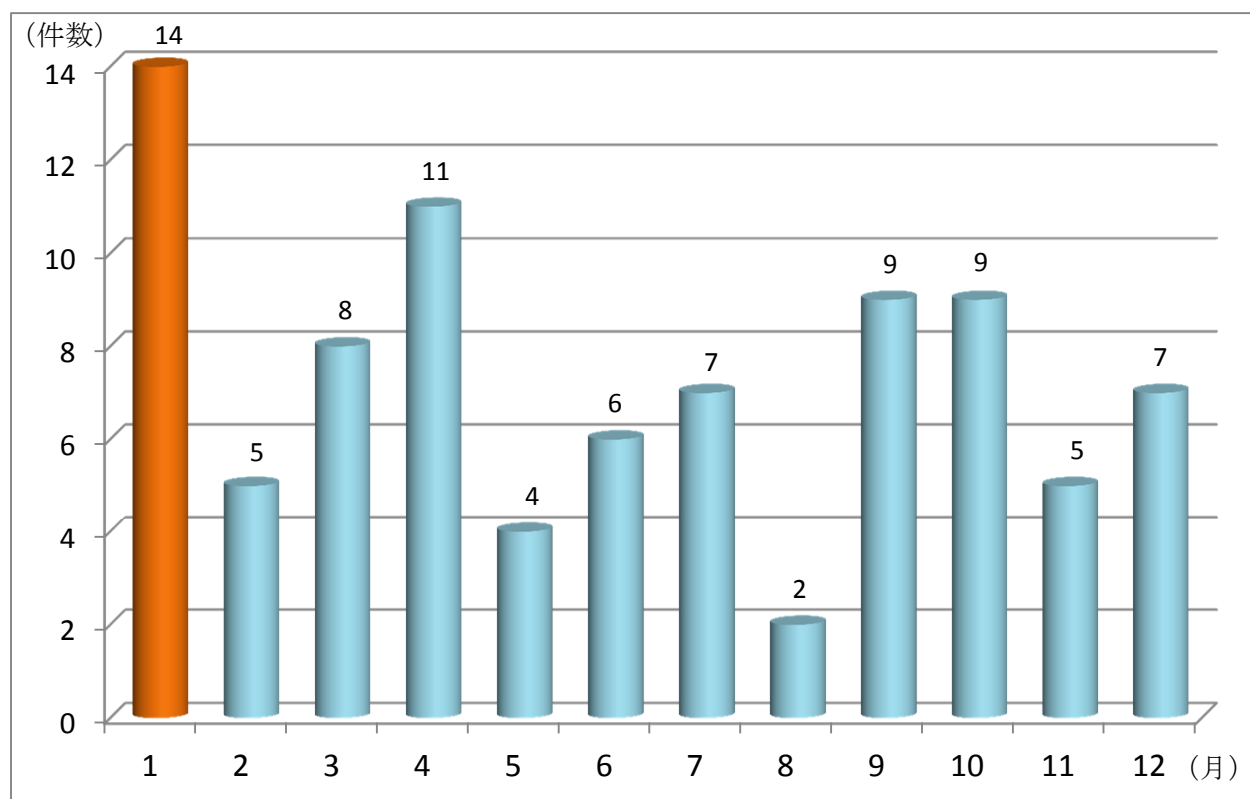
【自動車保有台数】



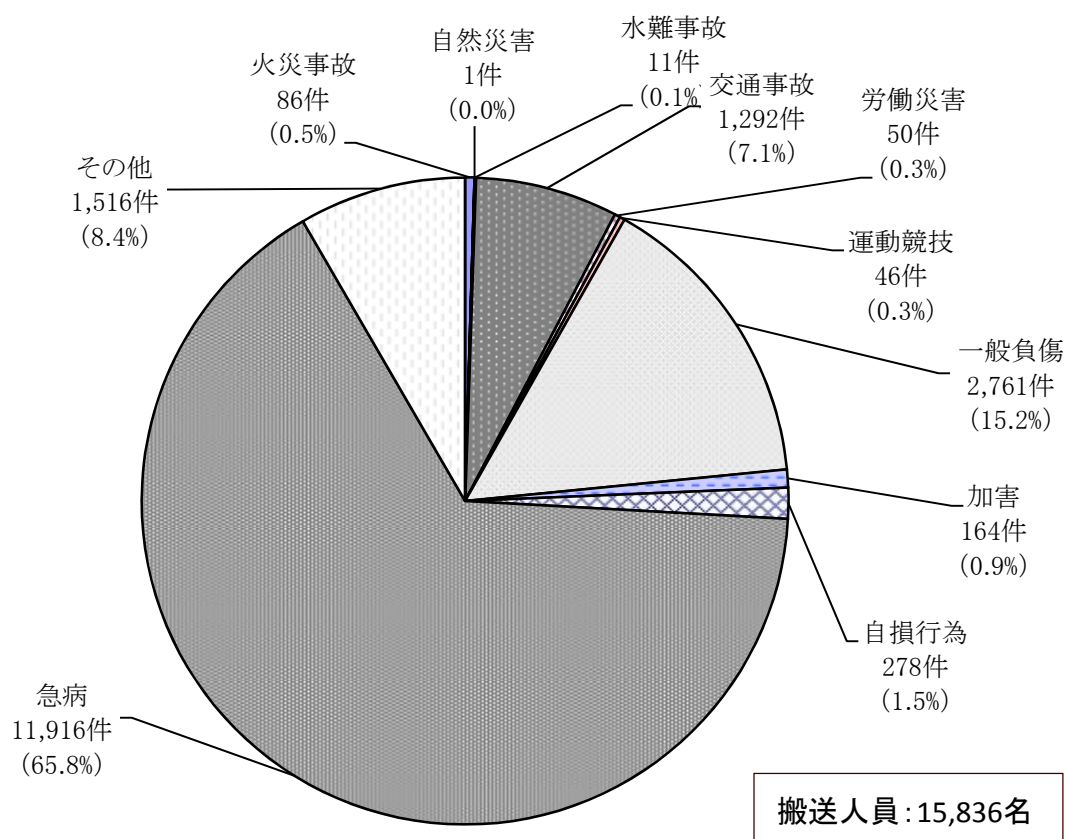
【生活保護の状況】



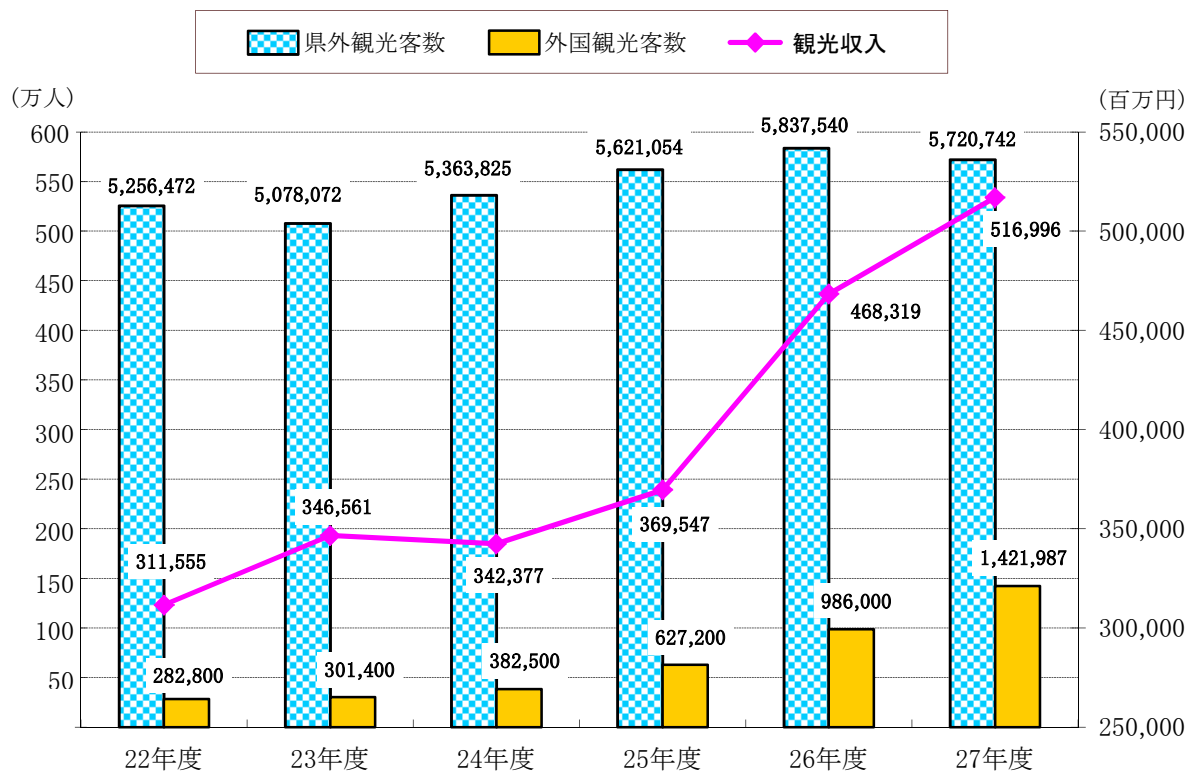
【月別火災件数】(平成27年 87件)



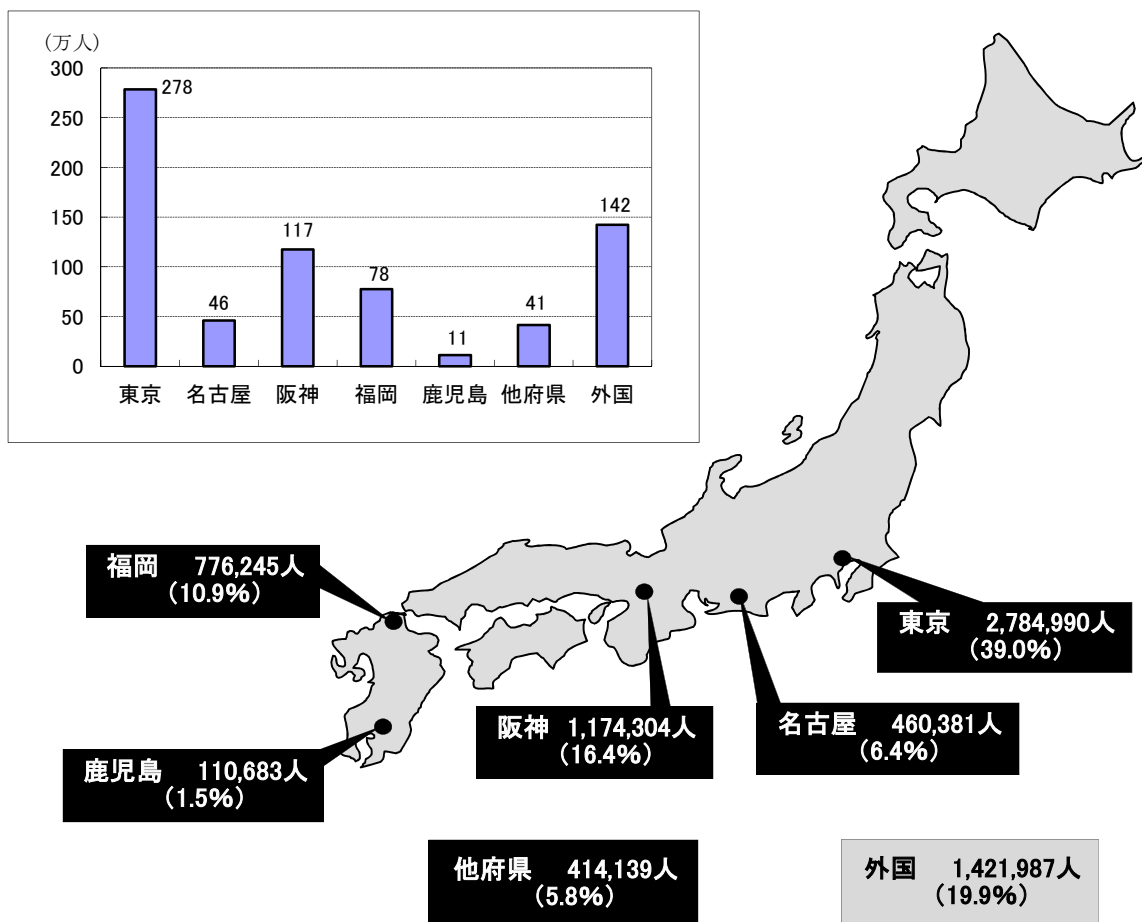
【救急活動状況】(平成27年 18,121件)



【入域観光客数及び観光収入の推移】

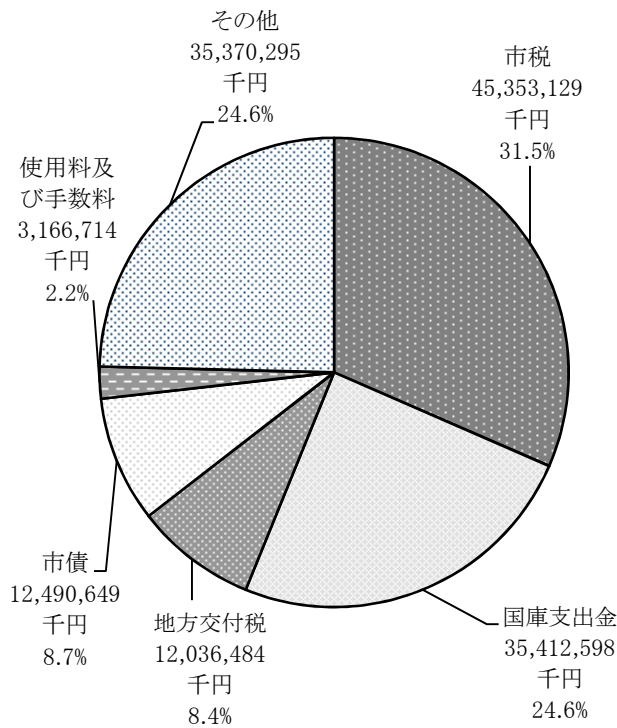


【航路別県外観光客数の構成比】(平成27年度 観光客総数 7,142,729人)

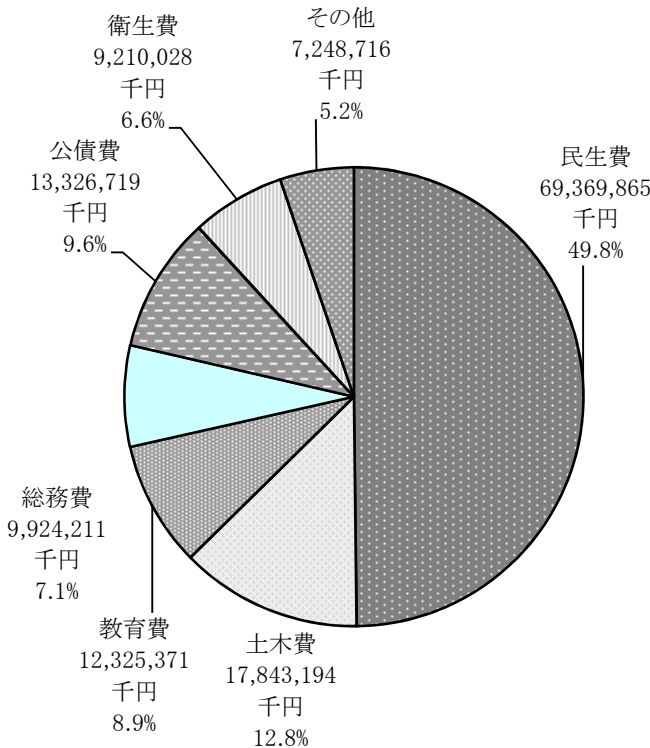


【一般会計】(平成27年度)

歳入 143,829,869千円

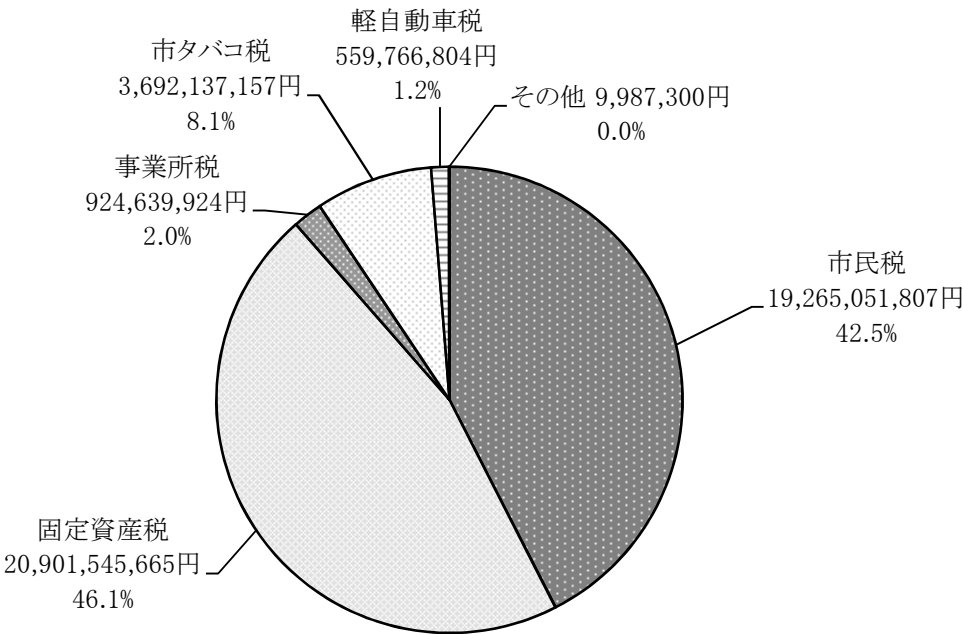


歳出 139,248,104千円



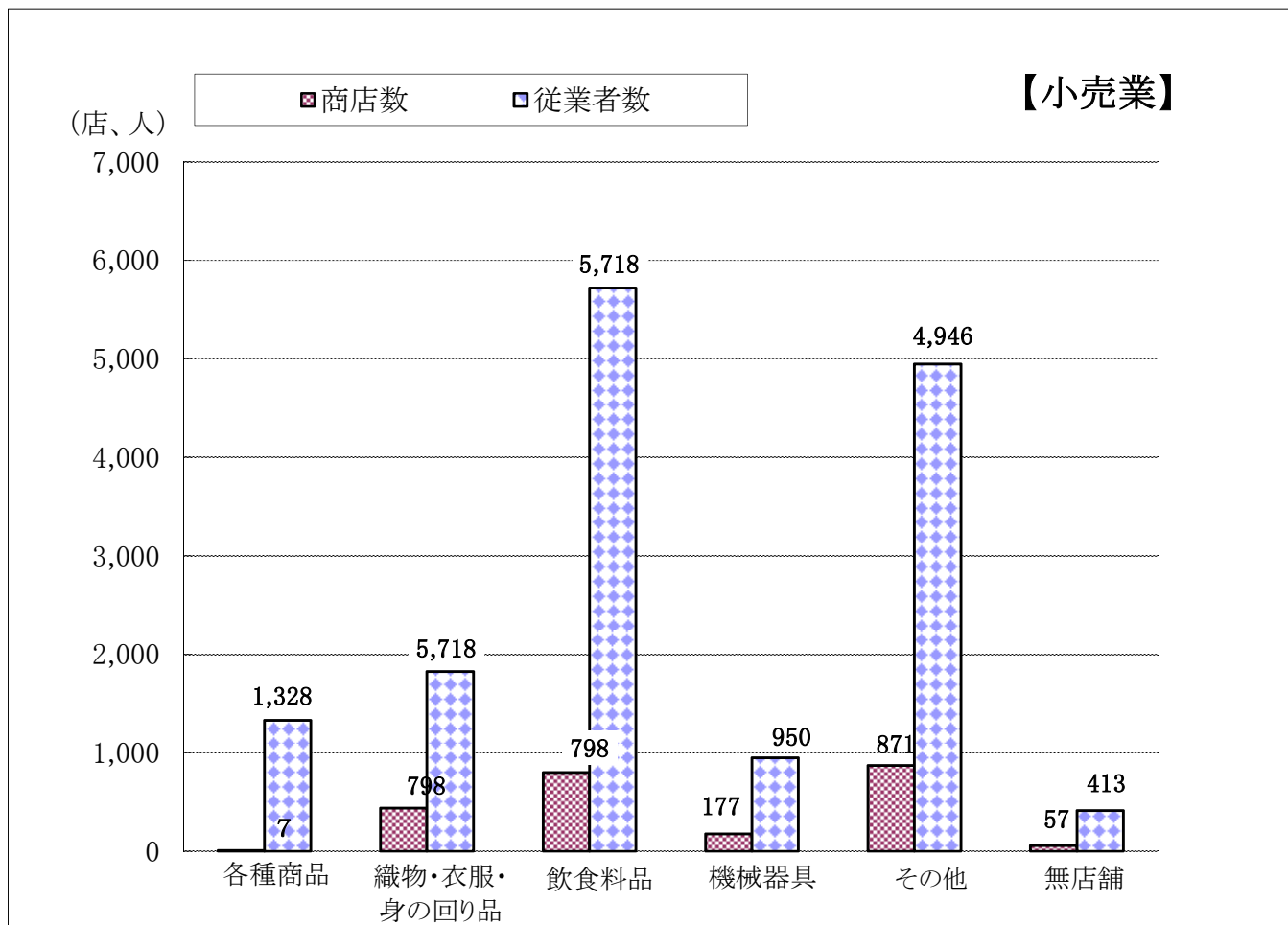
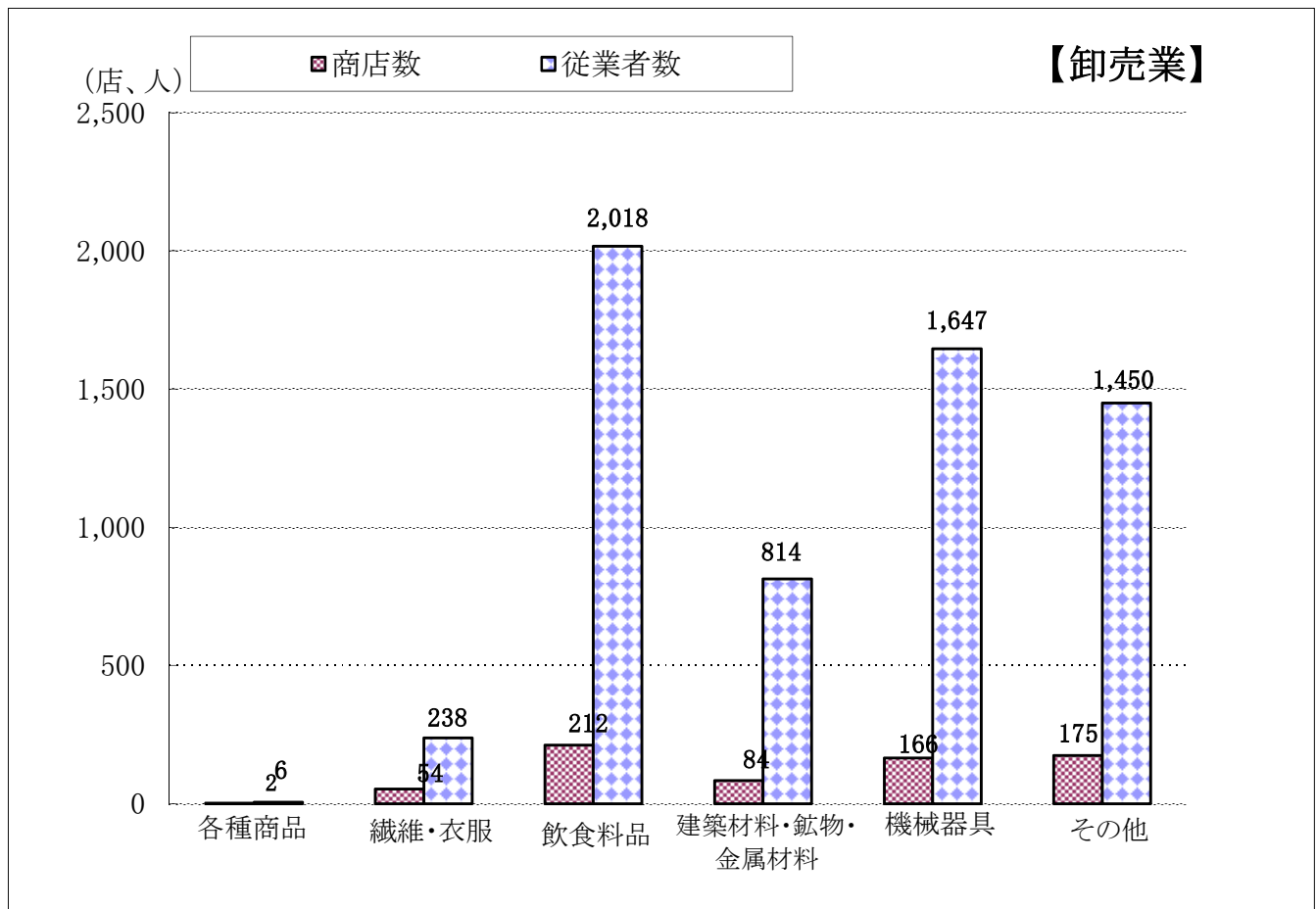
【市税収入状況】(平成27年度)

市税収入 45,353,128,657円



【産業中分類別商店数・従業者数】

(平成26年7月1日現在)





市民憲章

私たちは那覇市民であることに誇りを持ち、みんなで明るく住みよいまちをつくるため、すすんでつぎのことをまもりましょう。

- 1 私たちはまちを美しくしましょう
- 1 私たちは公共物を大切にしましょう
- 1 私たちは時間を守りましょう
- 1 私たちは交通道德を重んじましょう
- 1 私たちは誰にも親切にしましょう

2018 市勢要覧
(発行 2018 年 3 月)